

——情報理論とその応用小特集

(英文論文誌 A) 論文募集——

情報理論とその応用小特集編集委員会

基礎・境界サイエティでは、英文論文誌、IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences において、情報理論とその応用小特集 “Special Section on Information Theory and Its Applications” を 2014 年 12 月号に掲載する予定で企画しております。

本小特集では、このテーマに関する英文論文を一般に広く募集致します。特に、本年 11 月 26 日(火)～11 月 29 日(金)に伊東市で開催される「第 36 回情報理論とその応用シンポジウム」(SITA 2013) における発表論文の積極的な御寄稿を期待しております。

なお、同名同目的の小特集は、1991 年から毎年 1 回掲載されており、近年では、2010、2011 年の各 11 月号、2012、2013 年 12 月号(予定)に掲載されております。

1. 対象分野

情報理論に関する分野並びにその応用分野

2. 論文の執筆と取扱い

通常の一般論文と同一とします。原則として、論文は刷り上がり 8 ページ程度、レターは 2 ページ程度とします。査読後の再提出(条件付採録)の場合は、論文修正の期間が通常の 60 日以内よりも短縮される場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。

3. 論文投稿締切日 2014 年 2 月 7 日(金)(必着)

4. 投稿方法

電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1: https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx から登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体(Word/TeX)、図、著者の写真、biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず “Journal/Section” で [Special-TA] Information Theory and Its Applications を選択して下さい。[Regular-EA] を決して選択しないで下さい。

手順 2: 印刷した投稿者チェックリスト及びコピーライトトランスファーフォームにサインをしたものを論文投稿締切日である、2014 年 2 月 7 日(金)までに下記送付先へ郵送・FAX・メール添付のいずれかで送付して下さい。締切日までにこれらの書類が届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

5. 小特集編集委員会

委員長 松嶋敏泰(早大)

幹事 小林 学(湘南工科大)

委員 池田思朗(統数研)、宇佐見庄五(名城大)、笠井健太(東工大)、葛岡成晃(和歌山大)、古賀弘樹(筑波大)、小嶋徹也(東京高専)、後藤正幸(早大)、小西たつ美(愛知工大)、斎藤秀俊(工学院大)、境 隆一(阪電通大)、西新幹彦(信州大)、野村 亮(専修大)、浜田 充(玉川大)、藤沢匡哉(東京理科大)、松田哲直(東工大)、松本隆太郎(東工大)、峯松一彦(NEC)、三村和史(広島市大)、八木秀樹(電通大)

6. 投稿書類投稿先及び問合せ先

小林 学 湘南工科大学工学部情報工学科

〒251-8511 藤沢市辻堂西海岸 1-1-25

E-mail: kobayasi@info.shonan-it.ac.jp

TEL [0466] 30-0232, FAX [0466] 34-5932

7. 付記

*投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員である必要があります。入会の案内は <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html> を御覧下さい。

*採録された場合には、掲載別刷代をお支払い頂きます。著者には 50 部の別刷りが配布されます。

*採択件数が多い場合、2015 年 1 月号に掲載となる場合があります。

——VLSI 設計と CAD アルゴリズム小特集

(英文論文誌 A) 論文募集——

VLSI 設計と CAD アルゴリズム小特集編集委員会

最近の VLSI 技術の目覚ましい発展によって、西暦 2025 年には DRAM ハーフピッチが 8 nm に迫り、数十兆個のトランジスタが 1 チップに搭載されると言われています。これに伴い、VLSI チップの設計はますます複雑化、大規模化し、VLSI 設計における諸問題に総合的に取り組むことが不可欠となっています。また、今後のシステム LSI を設計する上で、ディジタル・アナログ混載技術など様々な技術の融合が不可欠です。VLSI 応用としての並列・分散アルゴリズムをはじめ、VLSI 設計のための方法論、機能設計からレイアウト設計に至る各種 CAD 手法、更に、それらを支える基本アルゴリズム及びデータ構造を対象分野とする質の高い論文を小特集として出版し、今後の VLSI 関連分野の研究の更なる発展を図るべく、本小特集を企画致しました(平成 26 年 12 月号)。本小特集では、このテーマに関する英文論文を一般に広く募集致します。特に、SASIMI 2013 及び ASP-DAC 2014 での発表論文の積極的な御投稿を期待しております。

1. 対象分野

VLSI 設計方法論、VLSI アーキテクチャ、コデザイン、機能合成、論理合成、低消費電力設計、シミュレーション(機能、論理、回路、プロセス、デバイス等)、形式検証、レイアウト検証、テストパターン生成、テスト容易化設計、フロアプラン、配置、概略配線、詳細配線、アナログ回路設計、セル/モジュール設計、システムレベル設計、その他 VLSI 設計と CAD アルゴリズムに関連する分野

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。原則として、論文は刷り上がり 8 ページ程度、レターは刷り上がり 2 ページ程度とします。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html) を御参照下さい。著者のうち少なくとも 1 名は本会会員である必要があります。本小特集の投稿にあたっては、次の点にも御注意下さい。

・投稿は電子投稿でのみ受け付けます。登録と投稿は https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx で行えます。なお、登録の際、“Journal/Section” については “[Special-VL] VLSI Design and CAD Algorithms” を選択して下さい。間違って “[Regular-EA]” を選択しないよう御注意願います。また、“Copyright Transfer and Page Charge Agreement(要サイン)”と “Confirmation Sheet of Manuscript Registration” を論文投稿締切日までに下記送付先(編集幹事)まで郵便、FAX、電子メール等でお送り下さい。

必ず電子投稿時に振られた Temporary ID を明記願います。

- ・初期投稿時に、編集可能な論文本体 (Word/TeX)、図、著者の写真、biography も投稿する必要があります。
- ・採録論文数が多くなった場合には、一部次号に掲載される可能性があります。
- ・論文採録の場合には、掲載別刷代をお支払い頂きます。

3. 論文投稿締切日 平成 26 年 3 月 13 日 (木) 必着

(電子投稿, copyright transfer, confirmation sheet 全て)

4. 書類送付先及び問合せ先

高木一義 京都大学大学院情報科学研究科通信情報システム専攻
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL [075] 753-5383, FAX [075] 753-5986
E-mail: ktakagi@i.kyoto-u.ac.jp

5. 小特集編集委員会

委員長 山田晃久 (シャープ)
幹事 樋上喜信 (愛媛大), 高木一義 (京大)
委員 尼崎太樹 (熊本大), 池田 誠 (東大), 石原 亨 (京大), 伊藤和人 (埼玉大), 宇佐美公良 (芝浦工大), 岡田健一 (東工大), 梶原誠司 (九工大), 金子峰雄 (北陸先端大), 川口 博 (神戸大), 木村晋二 (早大), 黒川 敦 (弘前大), 柴田裕一郎 (長崎大), 瀬戸謙修 (東京都市大), 宋 天 (徳島大), 高島康裕 (北九州市大), 高橋篤司 (東工大), 竹中 崇 (NEC), 戸川 望 (早大), 富山宏之 (立命館大), 中武繁寿 (北九州市大), 中村祐一 (NEC), 橋本昌宜 (阪大), 浜口清治 (島根大), 樋口博之 (富士通研), 廣瀬哲也 (神戸大), 福田大輔 (富士通研), 松本剛史 (東大), 三浦幸也 (首都大東京), 湊 真一 (北大), 南 文裕 (東芝), 山下 茂 (立命館大), 弓仲康史 (群馬大), 吉川雅弥 (名城大), 渡邊貴之 (静岡県立大)

——知的環境とセンサネットワーク小特集

(英文論文誌 B) 論文募集——

知的環境とセンサネットワーク小特集編集委員会

実空間に存在する人やもの、あるいは空間それ自体の状態をセンシングする機器同士のネットワークはセンサネットワークと呼ばれ、世界中で活発な研究が進められています。また、センサネットワーク等からのセンシングデータを処理・解析して得られる情報に基づき、人の活動を拡張・強化あるいは補完・補助する系を知的環境 (Ambient Intelligence) と呼びます。これらセンサネットワークに基づく知的環境を活用したシステムは、従来にない利便性の提供や抜本的なコスト削減が期待でき、例えば、スマートグリッドによる電力の有効利用、効率的な交通システム、市民に優しい街環境の実現などで注目されています。今後、知的環境を社会基盤として発展させていくためには、センサネットワークをはじめとする知的環境を支える諸技術の発展はもちろんのこと、その産業への応用を見据えて研究を推進することが重要と考えられます。そこで、今後の知的環境に関する研究開発の一層の促進を目的として、本小特集 (2014 年 9 月号掲載) を企画致します。

1. 対象分野

本小特集では情報通信分野からの投稿はもちろんのこと、農業、漁業、林業等の諸産業分野、プラント、発電所等の工業分野、及び健康、医療、流通等の諸サービス分野は知的環境とセンサネットワークの主要な応用領域であり、これらの領域からの投

稿も歓迎致します。例えば、以下のような技術分野を含みます。

- ユビキタスセンシング・アクチュエーション技術
空間センシング, アンビエントインタフェース, 組込みソフトウェア, センシング・制御理論
- アドホック・メッシュ・センサネットワーク
MAC/ルーティングプロトコル, マルチホップ・協力通信, セキュリティ, グリーンワイヤレス, 通信・ネットワーク理論
- アンビエントインテリジェンス
センサデータベース, 位置情報技術, ストリーム処理, プライバシー・セキュリティ, ビッグデータ, 学習・信号処理
- システム基盤
大規模広域化, ディペンダビリティ, IoT, M2M, サイバーフィジカル, 運用管理, 自律分散制御
- システム応用
農林水産支援システム, 医療・健康システム, 産業支援システム, 社会インフラシステム, スマートグリッド

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり 8 ページを標準とします。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Web による電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1: https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx から登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体 (TeX/Word)、図、著者の写真、biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず “Journal/Section” で Ambient Intelligence and Sensor Networks を選択して下さい。[Regular-EB] を決して選択しないで下さい。

手順 2: 登録時に生成される “Copyright Transfer and Page Charge Agreement” と “Confirmation Sheet of Manuscript Registration” を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付、FAX のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日 2014 年 1 月 6 日 (月) 必着

5. 投稿書類送付先及び問合せ先

関屋大雄 千葉大学大学院融合科学研究科情報科学専攻
TEL [043] 290-3258, FAX [043] 290-3269
E-mail: asn-ss-sec@mail.ieice.org

6. 小特集編集委員会

委員長 大槻知明 (慶大)
幹事 内藤克浩 (三重大), 関屋大雄 (千葉大)
委員 石原 進 (静岡大), 岩井将行 (東京電機大), 大和田泰伯 (NICT), 鏡 慎吾 (東北大), 川喜田佑介 (電通大), 川島英之 (筑波大), 川西 直 (ATR), 岸田 朗 (NTT), 塩川茂樹 (神奈川工科大), 深津時広 (農研機構), 藤田裕志 (富士通研), 不破 泰 (信州大), 三次 仁 (慶大), 横田英俊 (KDDI 研), 渡辺正浩 (三菱電機)

7. 付記

- * 締切日を厳守して下さい。
- * 招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代 (別刷

50 部含む)が必要となります。

※投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けられないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

——機構デバイスの最新動向 (IS-EMD2013)

小特集 (英文論文誌 C) 論文募集——

機構デバイスの最新動向 (IS-EMD2013)

小特集編集委員会

エレクトロニクスソサイエティでは、英文論文誌 C 分冊において「機構デバイスの最新動向」小特集 “Special Section on Recent Development of Electro-Mechanical Devices—Papers selected from International Session on Electro-Mechanical Devices 2013 (IS-EMD2013) and other recent research results” を平成 26 年 9 月号に発刊する予定です。

最近の電子機器は、デジタル化、小形化、高速化などの点で目覚ましい発展を遂げていますが、それらは、その基盤技術としての電気・光信号の接触・接続技術の着実な進歩によって裏付けられています。更に、最近では、MEMS などのマイクロエレクトロニクスからナノスケールエレクトロニクスへの技術の進展に伴う超小形機構デバイスでの接触現象が重要な研究課題になる一方で、自動車のエレクトロニクス化の進展や直流給電技術の実用化への対応が求められるなど、新しい局面での基礎研究や技術開発も活発となっています。また、環境問題では、鉛フリーのはんだ材料や、カドミウムフリーの接点材料の開発が期待されており、リサイクル (Recycle)、リユース (Reuse)、リデュース (Reduce) の 3R による環境調和技術が要求されています。

このような基盤技術としての機構デバイス分野の大きな変化並びに発展を受けて、電子情報通信学会機構デバイス研究会が中心となり、この情報を世界に発信していく目的で、2001 年に国際セッション (International Session on EMD) を発足させました。今回は平成 25 年 11 月 16 日から開催される第 13 回国際セッション (IS-EMD2013) に合わせて、この小特集を企画しました。

この小特集では、IS-EMD2013 で発表された論文の投稿を歓迎するとともに、そればかりではなく、機構デバイスに関係したあらゆる分野の論文の投稿を広く募集します。

1. 対象分野

機構デバイス、信号の接続に関連する分野

基礎研究：接触に関する表面科学と技術、アーク放電現象、トライボロジー、実装技術、光接続技術、信頼性、評価計測、マイクロマシーニングと MEMS/NEMS 技術

デバイス：リレー、電気及び光スイッチ、電気及び光コネクタ、開閉接触部品、ヒューマンインタフェースデバイス、アレスタ、ヒューズ、小形モータ等の電気-機械トランスデューサ及びアクチュエータ

材料：コンタクト材料、ばね材料、めっき、モールド材料、はんだなど

応用：環境調和問題、高周波伝送・EMC 問題、Pb・Cd フリー、リサイクル、リユース、リデュース技術など

2. 論文の執筆と取扱い

本小特集ではペーパーとブリーフペーパーのみを受け付けま

す。ただし、論文は刷り上がり 8 ページ以内、ブリーフペーパーは 4 ページ以内(厳守)とします。詳細は、The Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html) を御参照下さい。査読後の再提出(条件付採録)の場合は通常の 60 日以内よりも短縮される場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。

3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため、本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1: https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx から登録を行って下さい。なお、登録時には必ず “Journal / Section” で “[Special-EM] Recent Development of Electro-Mechanical Devices (IS-EMD2013)” を選択して下さい。“[Regular-EC]” を選択しないで下さい。

手順 2: 著作権譲渡承諾書 (Copyright Transfer and Page Charge Agreement) と仮登録確認用紙 (Confirmation Sheet of Manuscript Registration) を下記まで電子メール添付 (推奨)、FAX または郵送で送付して下さい。これらの書類がないと査読が開始されません。

4. 論文投稿締切日 平成 26 年 1 月 4 日 (土) 必着

5. 送付先及び問合せ先

幹事 阿部宜輝

日本電信電話株式会社 NTT フォトニクス研究所

〒243-0198 厚木市森の里 3-1

TEL [046] 240-2262, FAX [046] 270-6421

E-mail: abe.yoshiteru@lab.ntt.co.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 長瀬 亮 (千葉工大)

幹事 阿部宜輝 (NTT)

委員 上野貴博 (日本工大)、梅村 茂 (千葉工大)、萱野良樹 (秋田大)、小林達郎 (沖センサデバイス)、澤孝一郎 (日本工大)、澤田 滋 (三重大)、関川純哉 (静岡大)、曾根秀昭 (東北大)、高見幸二 (オムロン)、玉井輝雄 (エルコンテックコンサルティング)、長谷川誠 (千歳科技大)、服部康弘 (住友電装)、林 優一 (東北大)、吉田 清 (日本工大)

7. 付記

※論文採録の場合は掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。

※投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けられないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

——並列分散コンピューティングとネットワークング

小特集 (英文論文誌 D) 論文募集——

並列分散コンピューティングと
ネットワークング小特集編集委員会

近年、システムの大規模化や高度化、ネットワーク利用の拡大や複雑さの増大に伴い、並列分散コンピューティングの重要性はますます高まっています。VLSI 技術やネットワーク技術の発展に伴ってこの研究分野のカバーする対象領域は年々拡大しており、学界のみでなく、将来の産学界においても重要な役割を果たすこ

とが期待されています。2013年9月に東京で開催されるMCSoc'13や12月に松山で開催されるCANDAR'13など関連する国際会議の発表者・参加者、関連研究に携わる方々に広く投稿を呼びかけ、この分野における最新の研究動向を集めることを目的に並列分散コンピューティングとネットワークング小特集(2014年12月号)を企画しました。本小特集では、並列分散コンピューティングとネットワークングに関する論文を広く募集します。並列分散コンピューティングに係る有用な手法の提案に加え、具体的なシステムの実装に係るシステム開発論文なども歓迎致します。

1. 対象分野

- 並列・分散アルゴリズムとその応用(高性能計算, 画像・グラフィックス処理, データマイニングと情報検索, マルチコア・アクセラレータ利用計算, ネットワークアルゴリズム, グリーンコンピューティング, シミュレーションと可視化, スケジューリングと負荷分散, 性能モデルと評価など)
- 並列・分散システムとアーキテクチャ(並列プロセッサアーキテクチャ, クラスタ・グリッドシステム, ネットワークとストレージアーキテクチャ, ネットワークオンチップ, 高性能インタコネクトなど)
- 分散システムとネットワークング(ユビキタス計算, P2Pネットワーク, ワイヤレスネットワークとモバイル計算など)
- 並列・分散ソフトウェア(オペレーティングシステム, ミドルウェア, ツール, 仮想化技術, 並列プログラミングモデルと言語, Webサービス, クラウドと分散コンピューティング, クラスタ・グリッドの資源管理とスケジューリングなど)

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。原則として刷り上がり8ページ以内とします。詳細はInformation for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html)を御参照下さい。小特集であることから、査読後の再提出期間(通常60日)を短縮することがあります。また、論文採録の場合は、掲載別刷代が必要となりますので御了承下さい。

3. 論文投稿締切日 2013年12月25日(水)

4. 投稿方法

投稿は、本会電子投稿システム<https://review.ieice.org/regist/>

regist_baseinfo_e.aspxによる電子投稿とします。なお登録時には必ず“Journal/Section”で[Special-PA]Parallel and Distributed Computing and Networkingを選択して下さい。[Regular-ED]や他の特集を選択されませんよう御注意下さい。仮登録用紙と著作権譲渡承諾書は印刷して下記問合せ先へ2014年1月10日(金)までに、電子メール、FAX、郵便のいずれかにてお送り下さい。

5. 問合せ先

松谷宏紀 慶應義塾大学理工学部情報工学科
〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1
TEL [045] 566-1569, FAX [045] 566-1569
E-mail: cpsy-pdcn2014-kanji@mail.ieice.org

6. 小特集編集委員会

編集委員長 吉永 努(電通大)

幹事 中島康彦(奈良先端大), 松谷宏紀(慶大), 松前 進(佐賀大)

委員 天野英晴(慶大), 井上浩明(NEC), 泉 泰介(名工大), 市川周一(豊橋技科大), 井口 寧(北陸先端大), 片山喜章(名工大), 吉瀬謙二(東工大), 北村俊明(広島市大), 鯉渕道紘(NII), 笹部昌弘(阪大), 塩谷亮太(名大), 柴田裕一郎(長崎大), 新熊亮一(京大), 田頭茂明(関西大), 津邑公暁(名工大), 藤田 聡(広島大), 森 眞一郎(福井大), 森野博章(芝浦工大), 山内利宏(岡山大), 山口弘純(阪大), 山田浩史(東京農工大), 横田隆史(宇都宮大), Jacir Luiz Bordim(ブラジリア大)

7. 重要なお知らせ

- 採録が決まった論文等の著者(招待論文も含む)には、最終原稿の提出方法に応じて掲載別刷代が必要となります。この掲載別刷代には、別刷50部が含まれています。
- 投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

総合版ハンドブック

「知識ベース」の一般公開について

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開を開始しております。一般公開は、会員限定β版での公開後2か月を経過した一部のコンテンツが対象となります。

閲覧にあたっては、本会ホームページ(トップページ)→「総合版ハンドブック「知識ベース」」または、以下のURLからお入りください。

<http://www.ieice-hbkb.org/portal/>

